

## —— 大麻(アサ) ——



葉



雄花



雌花

## —— 洋麻(ケナフ) ——

大麻と間違われやすい植物



葉



花



つぼみ

けしの仲間（ケシ属植物）は、春から夏にかけて色あざやかで美しい大きな花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として人気があります。

しかし、**けしの仲間には、法律で栽培が禁止されているものがあります**。これらは、外観の特徴から、園芸用のけしと区別できます。けしの仲間を正しく見分けましょう。

## けしの見分け方

### 植えてはいけなけし

#### ① ケシ（ソムニフェルム種）

（学名：パパヴェル・ソムニフェルム）

1. 一重咲きの花は、花びら4枚で、色は赤、桃、紫、白などがあります。また、多数の花びらがついた八重咲きの花もあります。
2. 開花期の草丈は100～160cmくらいです。
3. 葉、茎、つぼみなどの外観は、キャベツの葉のような白味を帯びた緑色をしています。
4. 葉、茎、つぼみの表面には、ほとんど毛がありませんが、つぼみの下の茎（花梗）や葉の裏の主脈（葉の中心にある一番太い葉脈）には、まばらに毛がつくことがあります。
5. 葉は互い違いに茎につき、上部の葉は柄がなく、その基部は茎を抱き込むような形をしています。葉の長さは10～50cm、幅は5～20cmくらいです。